

～デジタル化の加速による「県民サービスの向上」と「バックオフィス業務の効率化」～

◆ 一般歳入金キャッシュレス決済スタート

- 自動車保有関係手続ワンストップサービスの運用開始(R4.1月～)
- 一般歳入金のコンビニ・ATM収納、パソコン・スマホ決済の運用開始(R4.4月～)



24時間365日

非接触・非対面

県民の利便性向上
決済の多様化に対応

◆ 工事検査の効率化と技術継承

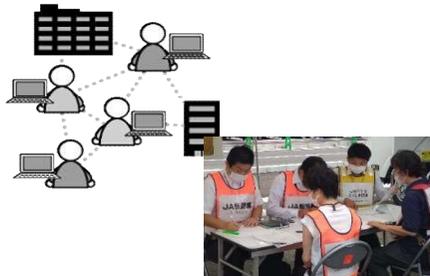
- タブレット端末活用による現場完結型検査の実践
- VR動画を活用した若手技術者研修の実施
- 検査時指導事項をAI-FAQに順次蓄積し、アドバイス機能を充実



公共工事の品質向上
検査員の知見を若手職員に継承

◆ 大規模災害時の資金安定供給体制の構築

- リモート相談・支払データ送信訓練等、関係機関と連携した訓練の深化
- 被災者支援制度に関する「AI資金コンシェルジュ」の精度向上

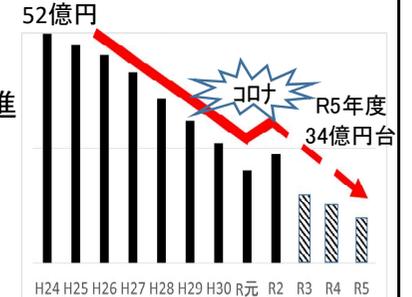


資金安定供給訓練

災害対応力の強化
県民生活や県内経済の安全・安心

◆ 全庁的な未収金対策の推進

- 削減目標を2億円上積み。新たな削減目標(R5:34億円台)達成に向けた取組の強化
- 収納手段の多様化、キャッシュレス化の推進による収納率の向上



県民負担の公平性
歳入の確保

◆ 電子決裁の推進

- 調定業務、支出関係業務に順次導入
- 物品購入決議簿システムを財務会計システムのサブシステム化、セキュリティ確保



ペーパーレス化の促進
テレワーク環境の整備

◆ RPA、AI-OCRの活用促進

- 財務事務関係所属と連携し、AI-OCRによるデータ読取、RPAによるシステム自動入力
- 監査調書作成業務をはじめ、汎用性の高い業務への適用推進



会計事務の省力化・効率化
事務処理の正確性向上